

教育目標「希望に燃えて  
心やさしく、人を大切にする子  
自分を表現し、相手を大切にする子

伸びゆかん」  
自分の考えをもち、共に学び合う子  
ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地  
TEL (0773)-68-0002  
FAX (0773)-68-0007  
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>



## 三遊間の仕事 ～優しさの行動力～



例年の9月は、山際（やまぎわ）のじめじめした日陰へ行くとあちらこちらで「ミョウガ」が採れます。しかし、近年は猛暑や鹿の食害の影響で、見つけるのも至難の業となりました。姿勢を低くし、ミョウガの茎の根本の土をかき分けて花ミョウガを見つけた時は、宝物を発見したかのようにとてもうれしくなります。



さて、先日の下校での出来事です。体育館前に全校児童が集合した時、私は片付けられずに体育館の犬走りに放置されている一輪車に気付きました。すぐに小さな声で「一輪車があんなどころに転がっているなあ。」とつぶやくと、5年生の1人の児童がサッと立ち上がって片付けてくれたのです。その後、一輪車を片付けた5年生が自分の列に戻ると、皆が「ありがとう。」と声をかけました。その場が優しさに包まれた雰囲気となり、とてもうれしい気持ちになりました。

誰がやるべきなのかわからない時や、誰の仕事なのか決まっていなかったことに対して率先して行動に移せる人は「優しさの行動力」がある人なのだと思います。特に、周囲にたくさんの人がいる中では、「誰かがやってくれるだろう」という心理が働きます。これを「リングルマン効果」と言いますが、その心理をもろともせず率先して行動した5年生の児童にはとても感動しました。



本校の職員でも誰の役割かは決まっていないこと、誰の仕事でもないことを、ある職員が率先してやってくれていることがあります。例えば、職員玄関に定期的に季節の花を生けてくださる職員。学級園の水やりが児童の手だけでは追いつかない猛暑の日、野菜が枯れないように水をやってくださる職員。このような本来担当者のいない仕事のことを野球の守備範囲に例えて「三遊間の仕事」と言うことがあります。サード（3塁）とショートの間で飛んできたボールはどちらかが処理しなければなりません。しかし、どちらが取るか明確でないので、積極的にボールを取りに行かなければヒットとなってしまいます。三遊間の仕事を率先して行動に移せる人が多い集団は、居心地がよく心理的安全性に包まれ、仕事も効率よくはかどります。児童の学級に置き換えても同じです。三遊間の仕事を率先してキャッチできる児童がたくさんいる学校を目指していきたいものです。

10月12日（土）には、秋季運動会が開催されます。児童が一生懸命練習した成果をぜひ御覧になり、応援していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

校長 鎌野 高信 教職員一同

○本校教育活動の広報発信の一つとして、学校ホームページを随時更新いたします。  
右記のQRコードからも開くことができます。ぜひ御覧ください。

